

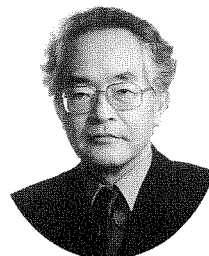
目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 教科書…… | 1 |
| 私の研究分野と文献収集…… | 3 |
| 図書館の楽しみ方…… | 3 |
| 図書館と私…… | 4 |
| 第四回特別展示会「レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖手稿」展報告…… | 5 |
| 本学教官等著作寄贈図書・資料…… | 6 |
| 図書館日誌…… | 6 |
| 会議報告…… | 6 |
| 平成14年度 弘前大学附属図書館開館カレンダー…… | 7 |
| ガイダンスのお知らせ…… | 8 |

教科書

理工学部長 本瀬 香

新聞報道によれば、東大生の愛読書は漫画と教科書だそうですが、この事には批判があるとおり残念ですが、私は次のことからおおいにエールを送りたいと思っています。むろん、教養も応用力もと思いますが、現在の学生の基礎学力のなさが内外から言われているとき、少なくとも大学時代に、基礎学力をしっかりと身につけることを希望します。



私が小学校一年生の時は、終戦後の混乱の中にあり物資の無さから、印刷された教科書など無く、先生が二、三枚の薄茶色の粗末なわら半紙に、謄写版（現在のコピー機）で印刷したもので国語や算数を習いました。選択の余地はまったく無い時代でした。

それがむしろ幸せで、今のように物資が豊かな時代は不幸なのかもしれません。選択も何もしなくとも、欲しくなくとも情報が与えられ、それに翻弄され、意欲をそがれ、常に受身で過ごす様に社会全体がなっているように感じられます。貧乏になって、受身で居られなくなって、驚いているのが現実ではないでしょうか。積極的に良い本を探す努力が必要です。

さて、私が新入生に求めたいのは、自分にあった、良き本を見つけ、腰を落ち着けて、じっくり読んでほしいのです。自分にあった本を得るには、先ず現在の自分の力を知らなければなりません。

これは意外と易しいようで、難しい。私の専門は数学ですが、よく学生に、大学時代に高校の教科書をもう一度読み直すことをすすめている。この様に少し自分のレベルより低い本を読むことをすすめます。大学生なのに、とか、一度知ったことを今更と思うでしょうが、新しい発見があります。ある母親が、アンデルセンの人魚姫を読んで、顔が真っ赤になったと言う話があります。年齢によって、置かれた立場、環境によって、同じ本でも受けとめ方が異なります。

小中高の教科書は多くの人の努力によって作られています。私も調査員をしたこともありますので、その点よくわかっているつもりです。複数の著者が書いた一冊の白表紙の教科書を、複数の調査員によって読まれ、検討が加えられ、さらに複数の検定委員によって検定されます。歴史教科書問題もあり、このような検定制度に対する批判がありますが、先人の残した文化遺産のエッセンスを伝えるためには、この制度は必要と考えます。定価に比して、膨大な労力と費用をかけているこの様な本は他に見たことがありません。これを利用しない手は無いと思います。ただ、大学の教科書は文科省の検定を受けるわけではありませんが、教える側が、その道の大家による著作を選んでいきますので、大いに利用していただきたい。

本の読み方に乱読と精読があります。私は皆さんに精読をすすめます。乱読は良い本を探すひとつの方法と考えたらいかがでしょうか。一事が万事という訳でもありませんが、ひとつのことに精通することは視野が狭くなるように思われますが私の経験では不思議と他のことに合い通じるものがあります。私の専門は数学ですので、そこから例を二、三あげて、このことを強調したい。

数学の研究方法は、それほど突拍子もないものではなく、他の科学に例を見られるもの

が殆どです。例えば、様々な事例を調べ、そこに共通のものを見出し、抽象化や法則性を見出す。これは数学の一つの手法ですが、他の科学でもそうであると思われます。

また、健康診断のとき、超音波やX線で、体の中を写したり、排泄物や血液から体の状態を調べます。このことは、数学でも不明な対象を具体的なものに写して調べます。数学ではこれを表現といいます。これは中谷宇吉郎の「雪は天からの手紙」に代表される手法です。

数学者は、社会的におかしい人が多いと言われていますが、決してそうではありません。エミニーネーターというドイツの女性数学者がいますが、彼女が教授昇格のとき、女性であることに反対意見が出た。教授の条件に男性という異質な条件を入れたわけで、その時、数学界の大御所ヒルベルトは言った「大学は公衆浴場ではない」と。

少し本題からはずれましたが、現在は情報があふれている。情報をキャッチすることは容易どころか、本人が求めなくとも洪水のように我々に迫ってくる。現在はそこから自分に必要で有益な情報を取り出すことに多大な時間と努力が必要となっている。その省力化に教科書を精読することも一つの方法ではないかと考えます。参考にしてください。

(もとせ・かおる 理工学部教授)



私の研究分野と文献収集

大学院農学研究科修士課程1年 田中和明

明日から一年間図書館業務を停止します、なんて突然言われたとしたら、私はとても困る。参考文献が集まらないと、論文が書けなくなる。卒業（修了）だって、きっとできない。そんな大げさな、という人もいるかもしれない。インターネットで、学術論文の要約ぐらいは簡単に見られるのだから、個人的に文献を収集するうまい方法もあるのだろう。しかし、私のように嘆く人は結構いるのではないだろうか。

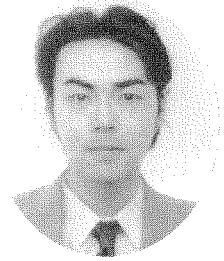
私は現在、菌類の分類について勉強しているが、この分野に関する文献の役割は大きい。たとえば、Aというグループの新種らしき菌をみつけたとする。その菌が新種であることを証明するためには、これまでに記録されてきたAグループの全種について調べ、自分の菌と比較しなければならない。つまり、文献（多くは学内に所蔵されていない）を集めることがまず必要になる。この点で私は、図書館の方に大変お世話になっている。

文献が手許に届くと非常に嬉しい。研究分野によっては、10年前の論文ですらすらと古くさい内容になってしまうと聞くが、菌分

類の分野では、そんなことはまずあり得ない。時代が変わっても菌の姿は変わらないのだから、100年前の論文であろうと、それは記載されている菌とともに生き生きとよみが

える。たとえば、新種だろうと期待していた自分の菌が、そのような論文にある菌と同種だったとしても、私はそれほど失望しない。100年も前に、たとえばノルウェーの片田舎で、こんな地味な生き物を見つけていた人がいたことに感動さえする。いつのまにか私もノルウェーにいて、新種発見の喜びを味わっている。

できることなら、世界中を旅行して、珍菌を覗いて廻りたい。もちろん、そんなことをするお金も時間も私にはない。が、図書館の方が学外の文献を届けてくださるおかげで、インドにも、エクアドルにも、採集旅行に出かけられる今日この頃である。



(たなか・かずあき)

図書館の楽しみ方

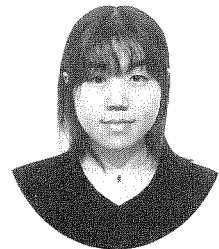
理工学部3年 杉沼麻美

図書館の利用方法としてはいろいろ考えられます。本が好きな人だとただなんとなくふらっと図書館に入って行き、目の惹くタイトルの本を手にとってみるということもあるだろうし、4年生にもなると卒業研究のために、それ以外にもレポート作成のために文献を探すことで利用する人もいます。

文献を探す際にはパソコンを使ったキーワード検索があります。なかなかひっかからない場合は実際にその場所にいくのがいいです。今までの経験上、その方が絶対に早く見つかります。レポートに必要な文献を探す場合は特にそうです。キーワード検索でおおまかな場所を特定し、あとはその場所について実際に目で見るのです。それっぽいタイトルの本の索引なんかをパラパラとめくっているとポロっと見つかる事もよくあります。それと普段から図書館に通うことで大体

どの場所にどんな本が置いてあるかがわかるのでいざという時に役立つと思います。

附属図書館の他に学部ごとの図書館もあります。専門書などはこちらのほうが断然多いです。3年の後期からになります。書庫には絶対に入ってみるべきです。いろいろな雑誌等たくさんあります。普段読む本というのはどうしても専門書に偏り、図書館にくるとまずその方向に足が向いてしまうので、視野を広げるためにも考え方が偏らないようにするためにも専門書以外の本も読みたいものです。最近は忙しく図書館に来てもゆっくり見ることができなくて残念です。書庫には時間を作ってまた見に行きたいと考えています。



お勧めしたいのは借りた本の書籍名、出版社、著者、日付をノート等に記録しておく事です。あとで見返すと、その当時、自分がどんな分野に興味をもっていたかがわかっておもしろいものです。私は2年生の時からはじめたのですが、例えば、タイトルに惹かれて借りたはいいが忙しくて読むことができなく、後でまた借りたい際に役立ちます。書庫から借りた本についてはなおさらです。どこにあったなんていちいち覚えていられるほど記憶力が良くないもので私はこういう方法をとっています。

ある程度学年が進んでから同じ場所に行くとか知識が増えた分、いろいろな本に興味もてるのも図書館の楽しみ方のひとつだと思います。

私が普段、図書館を利用して思っている事は大体こんな感じですが。人にはその人なりのいろいろな使い方があると思います。とにかく頻繁に図書館に足を運び、自分なりの図書館の楽しみ方を見つけられたらまた違った大学生活が送れるのではないかと思います。

(すぎぬま・あさみ)

図書館と私

あれは忘れもしない二年前期の授業科目届け提出の日。それまで、あまり考えていなかった僕は、学校に行ってから頭をひねっていた。その時勢いで選んだある科目が、僕の図書館ライフを180度変えてしまうなんて誰が予想したであろうか。

それまでの僕は、正直図書館をほとんど利用していなかった。それが例の科目をとったせいで、講義の空き時間やバイトの休みの日さらには土曜・日曜と足しげく図書館に通うようになってしまったのだ。う～ん、大学生らしい。

その科目について少し説明させていただくと、一応歴史関係の講義ではあるのだが、その中身は原典史料ともいえるような難解な文献の講読なのである。最初の3～4回の講義では文法などの説明があった後は、個人での講読が始まった。さてこうなるとどうしても必要になってくるのが辞書である。これが英語やフランス語などのメジャーな外国語なら話は簡単だ。辞書は図書館に行かずとも、買おうと思えば安く手に入れることができる。しかし僕がやっているのは古代モンゴル語なのである。このようなマイナーな言語になると、その辞書の数はかなり少なくなってくる。事実、学校の図書館にも3冊しかない。するとこの授業を取っているのが3人以上である限り、辞書をめぐる競争が発生する。これが、僕があれほど頻繁に図書館に通うはめになった一因となっている（まあ、後期になると講義の受講者は一気に減り、僕を入れて

人文学部2年 有田祐樹

2人というありえない状況ではあったが、その問題は解決された)。しかも1度「辞書紛失事件」という僕たち講義を取っている人間にとっては死活問題ともいえる、ゆゆしき事態まで起こる始末であった。これは図書館側のミスなのか、誰かが持ち出したのか(辞書類の貸し出しは出来ないのであるが)、不明であったが、数日後には元の場所に戻ってきていて、僕たちは胸をなでおろしたのであった。

と、いうように大学生にとって図書館というのは自分の勉強をするにせよ、講義の予習をするにせよ、きっと君達の助けになってくれると思う。僕のような先輩に言われるまでもないとおもうが、もし君達がなにかやりたいことがあって大学に来たのであればどんどん図書館を利用することをおすすめしたい。なにかわからないことがあれば受付の人に聞けば優しく教えてくれるだろう、……多分。

僕のように図書館で様々なことが起こるかもしれないが、一年生の皆さんには是非図書館を利用して欲しい。図書館で勉強しているとなぜか「私って……大学生！」という気分をしみじみ味わえると思うので。

それでは皆さんの図書館ライフが充実したものになるのを願いながら……この駄文を終わりたいと思う。

(ありた・ゆうき)



第四回特別展示会「レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖手稿」展報告

附属図書館医学部分館では特別展示会を昨年からは開催している。昨年は、第一回「ノーベル賞にみる西洋医学の系譜」、第二回「弘前藩医松野家史料展」をもった。本年は、第三回「オスラー展」を6月に、そして、今回の第四回特別展示会として「レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖手稿」展を開催した。11月1日(木)から11月30日(金)の一月間で、主催医学部分館運営委員会、共催医学部医師会、後援青森医学振興会による。

「最後の晚餐」や「モナリザ」でよく知られているルネサンスの巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチ(1452—1519)は絵画のみでなく建築、工学、医学、哲学など多くの分野に関心をもち、膨大な観察記録と考察を残した。英国ウィンザー城王室図書館所蔵の「解剖手稿」が最新の保存技術下に置かれることを機に国際復刻版の発刊が計画された。日本語版は350部である。復刻といっても現代もてる最高の印刷技術と紙質が用いられた。今回の展示のものには日本語版166の番号が付されている。レオナルドと同時代の解剖書「ケタムの解剖図譜」(復刻版)や、近代医学の出発点となったベルギーの医師アンドレアス・ヴェザリウスの「全身筋肉図」(復刻版)も展示した。世界と日本を対比して観ていただこうと考え、江戸時代中期の蘭学者杉田玄白の「解体新書」およびそのオランダ語版の原本であるドイツ人医師ヨハン・アダム・クルムスに

よる「簡明解剖学」(Anatomische Tabellen, ドイツ語版3版, 1725)、さらに、解体新書の改訂版も置くことが出来た。解体新書の附図は数日おきにページをめくり、期間中全附図を目に出来るようにした。レオナルドは、当時のレベルをはるかに超え、精神の座としての脳解剖さらには解剖学そのものを深く探求し、手稿として残した。レオナルドの描写した脳室模型と同様な脳室の蝸注入模型を本学第一解剖学講座の協力で展示できた。レオナルドのメモは鏡文字の名で知られている。実際、鏡に映してどのようにみえるか鏡を置いてレオナルドの文字をみていただいた。

今回の展示資料の多くは図書委員でもある麻酔科学講座松木明知教授の提供による。また同じく図書委員である解剖学第一講座正村和彦教授からも書籍及び脳室鋳型標本の提供をいただいた。

開催期間中の総入館者数593名。一日28名の方々の参観をいただいた。その割の54名が医学部外からの参観者であった。

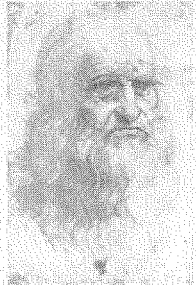
一市民の方から寄せられた感想の一部を紹介し本報告を終わりたい。

「レオナルドの解剖手稿の実物(印刷物とはいえ)を初めて目にする事ができ非常に感動しました。実に熱心に観察し、克明に文字を書き入れたものだと思います。今後とも、こういう貴重で、ふだん目にする事の出来ない本、資料の展示を望むものです。」

(医学部分館資料情報係)

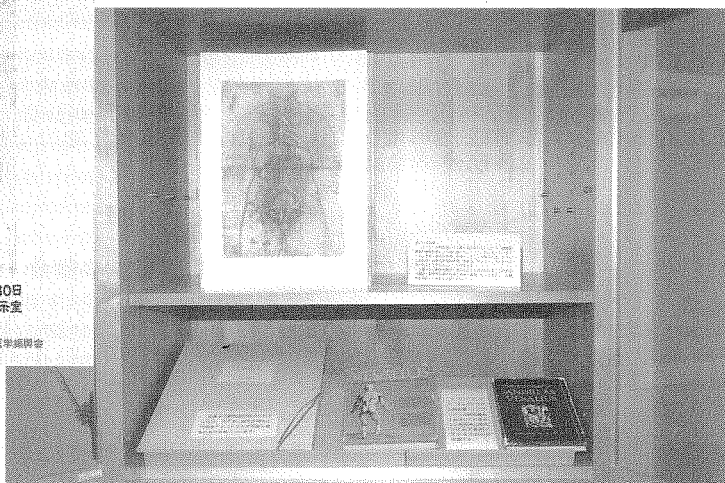
弘前大学医学部附属図書館 第4回特別展示会 レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖手稿

—英国ウィンザー城王室図書館コレクションから—



日時：平成13年11月1日～11月30日
場所：弘前大学医学部附属図書館展示室

主催：弘前大学医学部附属図書館運営委員会
共催：弘前大学医学部医師会／後援：青森医学振興会



展 示 資 料

本学教官等著作寄贈図書・資料 (平成13年10月～平成14年2月受贈分)

| 寄贈者等 | 資料名 | 発行所・発行年 | 冊数 | 所蔵先 |
|-----------------|---|---|-------------|-------------------|
| (人文学部) 諸岡道比古 | ・人間における悪一カントとシェリングをめぐって一 | 東北大学出版会 2001 | 1 | 本館 |
| 関根 達人 | ・掘立と堅穴 中世遺構論の課題 (東北中世考古学会編) 共著 | 高志書院 2001 | 1 | 本館 |
| 村田 俊一 | ・T. S. エリオット クラーク講演 (ロナルド・シュハート編註 村田俊一訳) | 松柏社 2001 | 1 | 本館 |
| 鈴木 和雄 | ・現代社会の経済理論 共著 ・労働力商品の解説 | 梓出版社 1993 日本経済評論社 1999 | 1 1 | 本館 本館 |
| 浅生 卯一 | ・労働過程論の展開 ・日本企業 理論と現実 共著 | 学文社 2001 ミネルヴァ書房 2001 | 1 1 | 本館 本館 |
| 堀内 健志 | ・憲法(改訂新版) [SBC 法学講義ノートシリーズ9] | 信山社 2000 | 1 | 本館 |
| (教育学部) 安藤 房治 | ・インクルーシブ教育の真実 一アメリカ障害児教育リポート一 | 学苑社 2001 | 1 | 本館 |
| (医学部) 松本 明知 | ・周術期における BIS モニターの臨床応用 ・日本麻酔科学史資料10-16 ・麻酔の歴史 | 克誠堂出版 1998 克誠堂出版 1998 克誠堂出版 1998 | 1 7 1 | 分館 分館 分館 |
| 朝日 茂樹 | ・国際保健医療協力ハンドブック | 国際開発ジャーナル 2001 | 1 | 分館 |
| 高橋 等 | ・内耳骨迷路の比較解剖学的研究 共著 | 弘前大学医学部第一 解剖学教室 2001 | 2 | 本館 分館 |
| 西沢 義子 | ・最新保健学一学校で役立つ看護技術一(養護教諭 必携シリーズ No. 3) 共著 | 東山書房 2001 | 2 | 本館 分室 |
| 弘前大学医師会 | ・弘前大学医師会生涯教育叢書1 オスラーの考え に沿っての21世紀の医の展望 | 克誠堂 2001 | 5 | 本館2 分館2 分室1 |
| (名誉教授) 古田 孝之 | ・線形成用への誘い (行列からヒルベルト空間上の有界線形成用素へ) | 培風館 2001 | 1 | 本館 |
| 品川 信良 | ・INVITATION TO LINEAR OPERATORS | Taylor & Francis 2001 | 1 | 本館 |
| 原田 征行 | ・より良い医療を求めて | 津軽書房 2002 | 1 | 本館 |
| 篠邊 三郎 | ・整形外科画像診断のすすめ方 ・流れ一 | 文光堂 1999 笹軽印刷 2002 | 1 2 | 分館 本館 |

ご惠贈ありがとうございます。附属図書館2階の「本学教官著作物」書架で展示紹介をした後、図書館の蔵書等に加え広く利用させて頂きます。今後とも図書館資料の充実を図るため、教官の皆様のご協力をお願いいたします。

図書館日誌

(平成13年10月～平成14年2月)

| | |
|-------------|--|
| 13年10月1日(月) | 第2回附属図書館長期総合計画検討委員会 |
| 19日(金) | 弘前大学総合文化祭・図書館ツアー実施 |
| 21日(日) | |
| 24日(水) | 附属図書館報(豊泉) No.22発行 |
| 25日(木) | |
| 26日(金) | 第42回東北地区医学図書館協議会(岩手医科大学) |
| 11月1日(木) | |
| 30日(金) | 第4回特別展示会(附属図書館医学部分館) |
| 30日(金) | 第3回附属図書館長期総合計画検討委員会 |
| 12月17日(月) | 第3回附属図書館協議会 |
| 14年1月17日(木) | 平成13年度国立大学附属図書館事務部長会議(山形大学) |
| 22日(火) | 平成13年度第4回医学部医学科図書委員会 |
| 25日(金) | 第4回附属図書館長期総合計画検討委員会 |
| 2月21日(木) | 平成13年度国立大学附属図書館東北地区協議会 事務連絡会議(山形大学) |

会議報告

平成13年度第3回附属図書館協議会

12月17日(月)

協議事項

- 1 平成13年度学生用図書購入費(追加分)等の配分(案)について
- 2 重複雑誌の不用決定について
- 3 その他

かかる特記事項について(回答)

- 2 諸会議の報告について
- 3 平成13年度教育改善推進費(学長裁量経費)の配分について
- 4 平成13年度図書資料(大型コレクション)の採択結果について
- 5 平成13年度図書資料(特別図書)購入報告について
- 6 その他

報告事項

- 1 歳出予算学内配分委員会委員長から附属図書館長に付託された図書館予算に

平成14年度弘前大学附属図書館開館カレンダー

本館

| | | | |
|--|---|--|--|
| 4 * 1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 ⑨ 30 * * * * * * * * * * * | 5 * * * 1 2 ③ ④ ⑤ ⑥ 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 ⑩ * * * * * * * * | 6 * * * * * * 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 * * * * * * | 7 * 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 * * * * * * * * * * * |
| 8 * * * * 1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9 10 ⑪ 12 13 14 15 16 ⑰ ⑱ 20 21 22 23 ⑳ ㉑ 26 27 28 29 30 ㉓ * * * * * * * | 9 * * * * * * * 1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9 10 11 12 13 ⑭ ⑮ ⑯ 17 18 19 20 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ 30 * * * * * | 10 * * 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ⑭ 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 * * * * * * * * * | 11 * * * * * 1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ 30 * * * * * * * |
| 12 * * * * * * * 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ 30 ㉓ * * * * * | 1 * * * ① ② ③ ④ ⑤ 6 7 8 9 10 11 12 ⑬ 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 * * * * * * * * | 2 * * * * * * 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ⑪ 12 13 14 ⑮ ⑯ 17 18 19 20 21 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 28 * * * * * * * * | 3 * * * * * * ① ② 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨ 10 11 12 13 14 ⑮ ⑯ 17 18 19 20 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 28 ㉙ 30 31 * * * * * |

部分は延長開館 月～金 9:00～22:00 土曜・日曜 10:00～17:00
 部分は通常開館 月～金 9:00～17:00 土曜・日曜 休館
 ○ 部分は休館日
 ※ 臨時に休館することがあります。掲示やホームページでお知らせします。
 学外者にも閲覧・貸出しております。メインカウンターで手続きしてください。

医学部分館

| | | | |
|--|--|--|--|
| 4 * 1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 ⑭ 15 16 17 18 19 20 ㉑ 22 23 24 25 26 27 ㉒ ㉓ ㉔ * * * * * * * * * * * | 5 * * * 1 2 ③ ④ ⑤ ⑥ 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ * * * * * * * * | 6 * * * * * * 1 ② 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13 14 15 ⑯ 17 18 19 20 21 22 ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 28 29 ⑩ * * * * * * | 7 * 1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 ⑭ 15 16 17 18 19 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 27 ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * * * |
| 8 * * * * 1 2 3 ④ 5 6 7 8 9 10 ⑪ 12 13 14 15 16 17 ⑱ 19 20 21 22 23 24 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ * * * * * * * | 9 ① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9 10 11 12 13 14 ⑮ ⑯ 17 18 19 20 21 ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 28 ㉙ 30 * * * * * * * * * * * * | 10 * * 1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9 10 11 12 ⑬ 14 15 16 17 18 19 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ 26 ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * | 11 * * * * * 1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9 ⑩ 11 12 13 14 15 16 ⑰ 17 18 19 20 21 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ * * * * * * * |
| 12 ① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9 10 11 12 13 14 ⑮ 16 17 18 19 20 21 ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ 30 ㉓ * * * * * | 1 * * * ① ② ③ ④ ⑤ 6 7 8 9 10 11 12 ⑬ 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 31 * * * * * * * * | 2 * * * * * * 1 ② 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 ⑪ 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 28 * * * * * * * * | 3 * * * * * * 1 ② 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13 14 15 ⑯ 17 18 19 20 ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ 28 29 30 31 * * * * * |

部分は延長開館 月～金 9:00～20:00
 部分は通常開館 月～金 9:00～17:00
 土曜開館 (大学院生・教官のみ 9:00～17:00)
 ○ 部分は休館日
 ※ 臨時に休館することがあります。掲示やホームページでお知らせします。

医学部分館保健学科分室 (医療技術短期大学部分室)

| | | | |
|--|---|--|--|
| 4 * 1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 ⑬ 14 15 16 17 18 19 ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ * * * * * * * * * * * * | 5 * * * 1 2 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * | 6 * * * * * * ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ * * * * * * * * | 7 * 1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * * * * |
| 8 * * * * 1 2 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * | 9 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ * * * * * * * * * * * * * * | 10 * * 1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * * | 11 * * * * * 1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ * * * * * * * * |
| 12 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * * * * * | 1 * * * ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * | 2 * * * * * * ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * * * * * * * * * | 3 * * * * * * ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ * * * * * ③ ③ ③ * * * * * |

部分は延長開室 9:00~20:00
 部分は通常開室 9:00~17:00
 ○ 部分は休室 土曜・日曜・祝日・年末年始・開学記念日(5月31日)
 ※ 臨時に休室することがあります。掲示やホームページでお知らせします。

—ガイダンスのお知らせ—

附属図書館の利用方法を総合的に紹介するため、次のガイダンスを行います。多数参加して下さい。

1. 春の図書館ガイダンス

(新入生対象)
 日時 4月15日(月)~4月19日(金)
 開催時間 16時~17時迄
 集合場所 附属図書館2階「新聞コーナー前」
 (事前申し込みは不要です。5分前までに集合してください)
 内容・図書館の利用方法と館内ツアー(書庫内見学含む)
 ・レファレンス・サービス(文献複写等)の利用案内
 ・OPAC(オンライン全学総合目録検索)の利用方法
 ・WebCat(全国総合目録データベース)の利用方法

2. 図書館ガイダンス・実践編

(学部学生3・4年生対象)
 日時 5月20日(月)~5月24日(金)
 開催時間 16時~17時迄
 集合場所 附属図書館2階「参考図書室」
 (事前申し込みは不要です。5分前までに集合してください)
 内容 卒論研究等のための一般的な図書館利用方法を紹介
 ・図書館資料(書庫等資料を含む)の利用方法
 ・レファレンス・サービス(文献複写, 相互利用等)の利用案内
 ・雑誌記事索引等の各種データベースの利用方法

編集後記

三月二日、例年よりかなり早く庭のマンサクが黄色の花弁をのぞかせた。この分だとサクラも大分早く咲くことでしょう。

豊泉第23号をお届けします。玉稿を4編いただきました。理工学部長の本瀬先生は1冊の教科書の重みを、また3名の学生はそれぞれにとっておきの図書館利用法を興味深くお書き下さいました。有難うございます。

年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず

毎年四月キャンパスに新入生の集う光景、またここで彼らがいくとせ勉学に勤しみ年々成長してゆく様子を彷彿とさせる詩句のような気がします。図書館が一日も早く新入生の学園生活の拠りどころの一つになることを期待します。

(原田幸雄 記)

平成14年度弘前大学附属図書館開館カレンダー（正誤表）

〔本館〕

| 正 | 誤 |
|---|---|
| (延長開館：月～金 10:00～17:00) 4月28日(日) (網掛) 10月27日(日) (網掛) | (通常開館：月～金 9:00～17:00) 4月28日(日) (網掛無) 30日(火) (網掛無) |
| (延長開館：月～金 9:00～22:00) 4月30日(火) | 8月10日(土) (丸印無) 9月1日(日) (丸印無) |
| (休館日) 8月10日(日) (丸印つき) 9月1日(日) (丸印つき) | 10月27日(日) (休館日) |

〔医学部分館〕

| 正 | 誤 |
|-------------------------|------------------------------------|
| (休館日) 10月14日(月) 振替休日 | (延長開館：月～金 9:00～22:00) 10月14日(月) |

〔分室〕

| 正 | 誤 |
|---|---|
| (休室日) 4月14日(日) (丸印つき) 9月16日(月) (丸印つき) | (通常開館：月～金 9:00～17:00) 4月14日(日) (丸印無) 9月16日(月) (丸印無) |